

西江原 史跡顕彰會報

第 67 号
令和5年4月24日

会報第一号は昭和六十三年（一九八八年）三月二十九日発行

「那須与一公追善法要並びに 袖神稲荷夏季大祭」について

今年度も西江原史跡顕彰会の大きな事業の一つである那須与一公追善法要並びに袖神稲荷夏季大祭を八月二十七日（土）永祥寺で行いました。

ご導師様読経の中、那須与一公を偲び追善法要を来賓ご臨席のもと厳かに執りおこなわれました。

奉納行事でみんなよう愛好会の方々により、堂内での艶やかな衣装で道祖踊り奉納、琵琶法師光成美和氏による弾き語り、演題として「扇の的」と「民話」がありました。

落合会長は、皆さんここでゆつくり深く深呼吸を三回ほどして下さい、そして今から八百年前、平安時代に気持ち移し、晴れた日そして風が少し吹いていた屋島の合戦場へ自分を入れながら琵琶の弾き語りを聴いてみて下さい、と話し来賓の方、一般の方々含め弾き語りを聴講、

哀愁を帯びた熱唱を聞き大変好評のなか行事は終了しました。落合会長は、法要行事準備で小管城址進入路の草刈り作業が、会員の高齢化が進み平均年齢は七十歳位の方々で、大変な作業でしたが、那須与一公追善法要は、今後も継続し、歴史文化の継承をと、意気込みを話しました。



西江原 ふるさと探検

令和四年十月十五日(土)今年も恒例の西江原興学会と青少年を育てる会の主催で、「西江原ふるさと探検」が開催されました。

まず甲山八幡神社へ到着し、顕彰会の方から神社への参拝作法などを教えていただいた。鳥居の前で一礼し左端を通行すること、そして手水舎ちゆうすいやでの作法も教えていただきました。

甲山八幡神社の歴史成り立ち、神社の鈴緒の振り方、賽銭の入れ方などのお話を渡辺宮司から聞きました。

平櫛田中生誕地で彫刻家で多くの功績を遺した事等を会員が説明しました。



続いて相田嘉三郎旧宅へ移動、嘉三郎氏が郷土井原の地へ養蚕、の普及と製糸業の発展に尽くされた人物などの説明を聞きました。

最後は興譲館高校を見学しました。参加した子供たちや保護者は終始熱心に見学し、自分たちの町の歴史について理解を深めることができました。

児童の感想文

●一年 男児

ふるさと探検が楽しかったです。興譲館高校がすごかったです。

●四年 男児

ふるさと探検にきました。神社と平櫛田中生誕地と相田嘉三郎旧宅と興譲館に行きました。地域の方のお話を聞いて勉強になりました。

●四年 男児

神社の説明で教えてもらった二礼二拍手一礼のやり方がとても印象に残りました。まず、軽く頭を下げ手のひらがひざに付くぐらいまで二回おじぎをします。その後、てのひらを第一関節分だけずらして手をたたきます。最後に深いお辞儀と軽いお辞儀をして終わるそうです。

●五年 女児



私が西江原ふるさと探検で学んだことは西江原には、すごい人物や建物がたくさんあるということです。私が特に印象に残ったのは、二つあります。一つ目は甲山八幡神社です。甲山八幡神社にはすごい歴史があるからです。二つ目は平櫛田中さんです。訳は、百歳超えても彫刻家が続けてすごいと思っただけです。いい経験になったと思います。

●五年 女児

西江原の町を見て歩く中で特に感じたのは、「住んでいるのに知らない」ということです。田中先生の本名も相田嘉三郎さんのことも興譲館のすごさも知れたので参加して良かったと思います。ありがとうございました。



●五年 女児

私は、初めてふるさと探検に参加しました。歩きなれている西江原を探検したら、西江原ってとてもすごいと思いました。中でも相田嘉三郎さんのことはなにも知らなくて、養蚕の方法を学んで西江原の地に普及させたすごい人だと分かりました。今後もっと西江原について知っていきたいと思いました。

●六年 男児

歴史を知れて楽しかった。歴史に名を残している人たちは全員努力している一つのこと集中していた。ぼくもそれも見習いたいと思いました。

保護者の方々の感想文

●西江原に住んで居ながら知らない事が多くあり大変勉強になりました。もっと多くの小学生が参加してくれたらと思います。コロナ過では仕方ないかもしれませんが。

●秋晴れのウォーキング日和でした。どの史跡も一度は説明をしていた、聞いたことがあるのに今回も新しい逸話が聞けて勉強になりました。

●興譲館講堂では幕末社会情勢と旧山陽道沿いという立地から多くの人が集い、学んだことがうかがえるお話しでした。

●参加者が少なかつたのは残念でしたが、子供たちにもわかりやすい説明をしてくださりありがとうございました。



●今年夏に西江原町に引っ越してきましたが町内の史跡、文化財を実際に歩いてお話を聞かせていただけて大変勉強になりました。

●「白鹿洞書院掲示に思いを馳せる」

数十年前ぶりに訪れた興譲館でこれを見かけたとき、自然にことばとしてでてきたが、内容と心理については今ひとつぴんと来ない。少し勉強してみようと思った。

●貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

●史跡顕彰会の方々のお話しは、知らないことばかりで、子供たちにも興味を持って聞いていました。今後自分たちの住む西江原のことを学ぶ機会があればと思います。

●今回ふるさと探検に初めて参加しました。

●西江原に住んで十二年ほどになりましたがなかなか歩いて町内をまわるといいう機会もなく、熱い中でしたが、史跡顕彰会の方のお話しも楽しかったです。ただ、参加してよかったと思います。

う機会もなく、暑い中でしたが、史跡顕彰会の方のお話しも楽しく聞かせていただけ、参加してよかったと思います。ありがとうございました。



小管城址の 草刈り作業

小管城址の進入路の草刈り作業を八月二十一日(日)予定していましたが、早朝より雨が降り作業ができず中止していました。

午後より賀山地区の役員の方々が進入路五百メートルの長い道を草刈り作業して下さり助かりました。

二十四日(水)午前八時よりあらためて役員全員で作業を致しました。いつもの作業ですが顕彰会役員の高齢化と、会員の減少等があり大変な作業でした。小管城址の草刈り作業は顕彰会の大切な事業の一つです。

今後も継続をしていかなければと思います。役員の方々に感謝申し上げます。



秋の研修旅行

築城四百年を迎えた
福山城と御領遺跡

西江原史跡顕彰会は久々に研修旅行を計画し十一月二十九日(火)に福山城博物館へ行きました。

福山城は初代藩主水野勝成が、一六二二年(元和八年)に築城しました。

リニューアルされた福山城博物館は白壁が真新しく、平日にもかかわらず大勢の観光客で賑わっていました、入館すると内部ではデジタルアートの映像や、階を上ると木馬による乗馬体験や射撃体験などがあり賑やかでした。天守内の博物館も体験しながら顕



彰会の会員が四百年前のお殿様気分で見渡し当

時を想像しているようでした。

天守閣前

広場では、

夜のイベン

トに「チームラボ福山城光の祭」が行われていました。

家族連れらが、光と音の異空間に入り込み、時を忘れ楽しめるように多くのチームラボが設置(卵形のオブジェ)は刻々と色を変える光の祭典である。

隣の広島県立博物館へ移動し、草戸千軒などの展示物を熱心に見学しました。

午後は小雨降る中、下御領古墳群へ移動。御領の古代ロマンを蘇らせる会代表端本てる子さんと堂々公園で台流しました。

雨の中で足元が悪く危険な状態にも関わらず移動しながら古墳群の解説をして頂きました。

御領遺跡は、広島県福山市神辺町下御領から上御領にかけての南北一、四km、東西一、六kmに広がる縄文時代後



期から中世の遺跡の事です。井原鉄道建設や住宅建設にともなう発掘調査また国道三一三号の改良事業に伴う発掘調査によつて様々な遺構・遺物の発見がされました。今でも多くの人たちが生活している神辺平野にある御領遺跡では、土器が大量に発掘されました。そのことから、古代より多くの人々が暮らしていたことが分かります。

御領遺跡を見渡し山の斜面にある古墳は、御領遺跡で暮らしていた人たちの墓だと考えられます。古墳の丘(上御領・下組古墳群)の石室の大きさは、幅0、八層のものから二、三層で長さ

は二層から九、二層と大規模ではありません。幅が二層以上だと最有力者層の家族墓で、幅が一層未満だと身分に関係なく別の理由で埋葬されたと考えられています。この古墳は下から眺めるとも存在感があり「古墳の丘」のシンボリック古墳です。



参加した会員の方は、御領遺跡の大きさに触れた有意義な一日となりました。



早雲公供養祭 並びに
史跡顕彰会総会について

■日時 令和五年四月二十九日(土) 午前十時より
■場所 長谷山法泉寺